

京都

Kyoto
Prefectural
Newsletter

きょうと府民だより

2023年
[令和5年]

1
月号



VOL.501

点字版、文字拡大版、音声版を
ご希望の方はご連絡ください。

本紙の内容を府HP
でも公開しています。



令和4年の
府政ダイジェスト

クローズアップ京都府

府警あんぜん広場

文化庁が
京都にやって来る！

暮らしガイド
KYOTO Information



新春対談

未来を明るく、 スポーツの力で

京都府知事 西脇 隆俊 × 元プロ野球選手 糸井 嘉男 氏

令和5年 年頭のごあいさつ

京都府知事 西脇隆俊、京都府議会議員 菅谷寛志

題字：京都府知事 西脇 隆俊

基本的な感染防止対策と
積極的なワクチン接種を！



新型コロナウイルス感染症情報



京都府新型コロナワクチン
接種情報サイトはコチラ▶





「あたたかい京都づくり」へ邁進

京都府知事 西脇隆俊

あけましておめでとうございます。府民の皆さまにおかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

新型コロナウイルスの闘いも3年になろうとしています。長きにわたり感染防止対策に取り組んでいただいている皆さま、そして、医療従事者をはじめ関係の皆さまに、心から感謝と敬意を表します。

昨年は新型コロナウイルスの拡大に加え、ロシアによるウクライナ侵攻や世界的な物価高、さらに記録的な円安などに見舞われ、今も社会生活への甚大な影響が続いています。こうした情勢の中でも安心して暮らし、将来に向かって夢を抱くことができるよう、「あたたかい京都づくり」を進めていくことを決意し、総合計画を1年前倒しして改定しました。同計画に基づく施策を令和5年度当初予算に盛り込みます。

「時が物事を変えると人は言うが、実際は自分で変えねばならない。They always say that time changes things, but you actually have to change them yourself.」これは米国の芸術家アンディ・ウォーホルの言葉です。今年3月、いよいよ文化庁が京都で業務を開始し、明治維新以来初の中央省庁移転が実現することとなりました。彼が言うように、この歴史的な出来事が私たちに何をもたらすかではなく、私たちがこの機会をどう活かしていくかが問われます。「文化の都・京都」の実現に向け、国と地方が連携して日本各地の文化に光を当て、世界へ発信し、ここ京都から新たな文化の潮流を起こしたいと考えています。

この他、「社会で子どもを育てる京都」の実現に向け、子育て環境日本一の取り組みを進化させてまいります。また、京都の強みである大学の「知」と学生の「力」を積極的に地域や企業に取り入れ、京都の活力を生み出していきます。そして新名神高速道路開通や、大阪・関西万博開催などの好機を活かし、京都の発展に取り組んでまいります。

今年も卯年です。その愛らしい姿と温厚な性質で「家内安全」を、跳躍する姿で「飛躍」を象徴するウサギの年にふさわしく、皆さまと共に「あたたかい京都づくり」へ邁進してまいります。

今年一年の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます、新年のごあいさついたします。

令和4年の府政ダイジェスト

一般府道郷ノ口余部線宇津根橋が開通(23日)



2月

京都府デジタル学習支援センターを開設(1日)
京都府立井手やまぶき支援学校を開校(1日)



危機克服対応ビジネス創出支援事業補助金を創設(1日)

西脇府政2期目スタート(18日)

WE LAB 赤ちゃんプロジェクトの府全域展開を開始

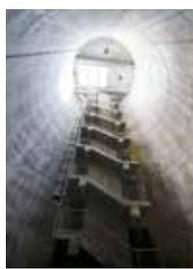


3月

ロボカップジュニア・ジャパンオープン2022けいはんなを開催(23日)

いろは呑龍トネル 南幹線・呑龍ポンプ場の供用を開始(21日)

京都府医療的ケア児等支援センター「ことわ」を開設(25日)



京都府ヤングケアラー総合支援センターを開設(28日)



「実践！換気対策ガイドブック」を作成



6月

京都府開庁記念日記念式典を開催(17日)



京都府立農芸高等学校が農場 HACCP 認証を取得(17日)



京都府議会議長 菅谷寛志

さらなる飛躍の一年に

令和5年の年頭に当たり、府民の皆さまに謹んで新年のお祝いを申し上げます。皆さまには、晴れやかに新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年は年明け早々に「まん延防止等重点措置」が適用され、夏には類を見ないほどの感染拡大があるなど、令和2年、3年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた一年となりました。またロシアによるウクライナ侵攻や、原油価格・物価の高騰、歴史的な円安など、国際情勢が大きく変化する中で、私たちの社会・生活も厳しい状況に直面いたしました。

一方、各地でお祭りや行事が再開され、ここ京都におきましても祇園祭の山鉾巡行が3年ぶりに行われるなど、コロナ禍前のにぎわいを少し取り戻した一年でもありました。

この間、京都府議会におきましても、高齢者施設などへの医療提供体制の強化や、原油価格・物価の高騰等に対する緊急対策など時宜にかなった施策が着実に実施されるよう審議を尽くし、意思決定を行うとともに、私たちにさまざまな恵みをもたらす府内の森林を次世代に継承していくため、「京都府府内産木材の利用等の促進に関する条例」を議員の発案により、3月に制定したところです。

引き続き、全ての府民の皆さまにとって、より豊かで住みよいまちづくりを目指して、さらに創意工夫を重ね、その信頼に応えられるよう、全力を尽くしてまいりますので、ぜひとも皆さまの貴重なお声を私ども府議会議員にお寄せいただければ幸いです。

今年の干支は卯です。うさぎはその飛び跳ねる姿から、「跳躍」、「向上」を象徴するものとされております。これまでの卯年を振り返りますと白熱電球や動力飛行など現代社会において必要不可欠な技術の礎が発明された年に当たります。今年には「空飛ぶクルマ」の国内初の有人での実証飛行が予定されるなど、また新たな技術の開発が期待されています。

本年が、私たちの未来を拓く素晴らしい一年となることともに、皆さまにとつて、大きく飛躍ある一年となりますことを心からお祈り申し上げます、新年のごあいさついたします。

京都府女性つながりサポート事業チャット相談窓口「こはな」を開設(1日)



令和4年度京都府総合防災訓練を実施(4日)
ALL KYOTO FEES
1京都とつながる1日一を
開催(11日)

京都府健康フオーアップセンターを開設(26日)

サンガスタジアム by KYOCERAが「多様な世代が集う交流拠点としてのスタジアム・アリーナ」に選定(26日)



京都府総合計画を改定
新行政棟・文化庁移転施設を竣工

移住婚やスポーツ婚のほか、歴史・文化などと連携した多様な婚活イベントを開催(通年)



7月

原油価格・物価高騰等
小規模事業緊急支援を実施
京都府リカレント教育推進機構を設立(28日)

8月

アート&テクノロジー・
ヴィレッジ(仮称)の
施設整備工事に着手
京都府地域共創大学
連携会議を設立(26日)

9月

京都デジタル人材創造
WEBプラットフォーム
(京デジプラット)を
開設(7日)
経ヶ岬灯台を重要文化財
に指定するよう答申(12日)
京都舞鶴港が「みなとオアシス」に登録(15日)

10月

伝産ビジネス支援新拠点
「Kyoto Den-san Biz」を
開設(1日)

府民交流フェスタを開催
(3日)

11月

京都府立医科大学
創立150周年記念WEEK
を開催(3~5日)
第13回KYOTO地球環境
の殿堂表彰式を開催(14日)

「京料理」が登録無形文化財
に登録(17日)

12月

第76回全国お茶まつり京都
大会を開催(19日、20日)
京都府エディンバラ市
友好提携25周年記念
事業を開催(23日)

元プロ野球選手

糸井 嘉男よしお氏

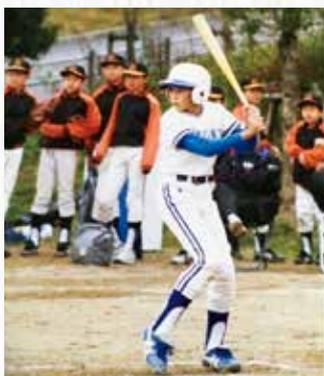
ファンを魅了した「超人」の野球人生

西脇 まずは19年にわたる現役生活、本当にお疲れさまでした。京都府出身とあってずっと応援していましたが、引退試合でもヒットを打ち、やはり「スター選手だな」と感動いたしました。

糸井 ありがとうございます。競技者としては、やり切りました。

西脇 引退試合には地元ファンを招待されたそうですね。

糸井 ええ。小さい頃から支えてくれた方ばかりなので…。ファンの存在はすごく大き



岩滝少年野球クラブ時代の糸井さん(ご本人提供)

スポーツの力で

力にあふれた京都へ

を脱いだ、与謝野町出身の元プロ野球選手
生まれ故郷・京都への想いを語っていただきました。

西脇 ええ。ピッチャーは高校2年生のいです。引退セレモニーでは、ファンに最後のお別れをするためにグラウンドを一周しながら、この光景を目に焼き付けようと一人ひとりの顔を見て懸命に手を振りました。

西脇 一流の選手だからこそ、支えてくれるファンの大切さを知っているんですね。ところで、並外れた身体能力で「超人」の異名を持つ糸井さんが、野球を始めたきっかけは何だったのでしょうか？

糸井 僕らの世代は、他のスポーツの選択肢があまりなくて…。野球は周りにつられて、自然な流れで始めましたね。

西脇 私らの世代もそうでした。昔は多くの子どもが野球に親しんでいましたよね。

糸井 知事も中学・高校時代は野球をさせていたそうですね。ポジションはピッチャーでいらしたとか。

西脇 ええ。ピッチャーは高校2年生の



元プロ野球選手
糸井 嘉男さん

1981年 与謝郡岩滝町(現・与謝野町)生まれ。府立宮津高等学校(現・府立宮津天橋高校)から近畿大学。2003年にドラフト自由獲得枠で北海道日本ハムファイターズに入団(04~12年)。その後オリックス・バファローズ(13~16年)、阪神タイガース(17~22年)。13年ワールド・ベースボール・クラシック日本代表。

秋から1年間やりました。

糸井 私もプロ野球にはピッチャーで入っ

たんです。成績が振るわず、およそ2年で

選手への転向を言い渡されましたが。

西脇 そこから大変な努力を重ね、野手

として大成された。そのようなエピソード

はファンのみならず多くの人に勇気を与

えるものです。これまでの功績にあらため

て敬意を表します。*



プロ野球界の第一線でご活躍された、顕著な功績に敬意を表して、西脇知事から糸井さんに花束を贈呈

離れたからこそ 分かる地元の良さ

西脇 大学に進学するまでの期間を過ごされた、地元での思い出はありますか？

糸井 わんぱく野球小僧でしたので思い出というところは野球なんですが(笑)。毎年5月に行われる宮津祭の神楽(獅子舞)を小さい頃にした記憶があります。あとは、宮津燈籠流し花火大会を見たことも思い出に残っています。



京丹後地方のみに伝わる鯖のおぼろを使った「ばら寿司」。鯖のおぼろ以外に使用する具材や一段にするか二段にするかなどは、各家庭によって異なる

西脇 食べ物に関する思い出。例えば、ご家庭でばら寿司は出てきませんでしたか？

京都府知事

西脇 隆俊

未来を明るく、

夢やあこがれ、明日への

惜しまれつつも2022年シーズン限りでユニフォーム糸井嘉男さんをお招きし、スポーツが持つ可能性や

糸井 ばら寿司はよく食べていました！何かお祝いがある日は決まって母が作ってくれて、生活に根付いていましたね。

西脇 見た目にも華やかな一品ですね。それと丹後地方と言えば、果物や海の幸もおいしいですよ。梨、メロン、ぶどう、丹後ぐじ、とり貝、ブリ…。

糸井 果物なら、おじいちゃんがみかんを作っていました。家の畑にみかんの木が植わっていて。

西脇 いいですね。まさに「食材の宝庫・京丹後」を身近に感じられますね。

糸井 ええ。海あり山ありの豊かな自然こそが地元の良さですよ。僕は北海道、関東、いろいろな所に住みましたが、地元に戻るたびにリフレッシュできる良い所だなと思っています。

西脇 しばらくコロナ禍でストップしていましたが、糸井さんの地元は欧米の観光客にも人気があるんですよ。天橋立で有名な宮津湾は、舟屋で知られる伊根湾と共にモンサン・ミシエル湾と姉妹湾協定を結んでいることもあります。欧米の方は1週間から10日間、ゆったり滞在されるんです。

糸井 そんなに長期間？自然しかないのに。

西脇 いえいえ、食べ物ほどもおいしいし、絶景ビーチや美しい日本の情景がたくさんありますから。今後はコロナ収束後を見据えた観光振興に力を入れたいと考えています。



日本遺産の構成文化財の一つ、天橋立は糸井さんの地元。世界遺産登録を目指して府と地元自治体、住民が連携して取り組みを展開中

新春対談





夢中になって競い合う その過程が成長

スポーツを通して 得られるものとは？

西脇 今回のメインテーマ、スポーツの話題に入りたいと思います。私自身、人格的な体幹や背骨のようなものは中学・高校時代の野球で培われたと思っています。そして一生の付き合いとなった仲間たちも…。糸井さんがスポーツを通して得たものは何でしょうか。

糸井 まず、スポーツって夢中になれますよね。そしてライバルと競い合う中で新たな目標が生まれ、達成に向けて努力できる。続けた努力がやがて結果に結び付く…。人とのつながりもできて、人間関係も学べます。こういった成長の過程は、特に子ども頃は大事なのかなと思います。

西脇 目標に向かう途中には障壁もありますよね。例えば「けがでプレーができない」といった困難にぶつかった時は、

どうやって克服されてきましたか？

糸井 けがをすると「治るだろうか…」と不安になります。だからこそ一層強い意志を持って、復帰した時は必ず以前より成長している自分にしたいたいと思いがらりハビリに取り組んでいましたね。

西脇 さすがは「超人」、メンタルも強靱ですね(笑)。私も高校1年生の夏に大けがをした経験がありますが、入院中はチームメイトが毎日のようにお見舞いに来てくれて、それが支えになったことを今も覚えています。

糸井 そんな仲間ができるのも、スポーツの良い所ですね。

西脇 そう思います。ただ、育成年代におけるスポーツ活動には、現代的な少子化という課題があつて、地域のスポーツ少年団や中学・高校の部活動に参加する生徒の数がかなり減っているんです。

糸井 スポーツ離れも進んでいるそうですからね。

西脇 特に団体競技の場合だと、学校単位のクラブ活動が難しい所も出てきています。それならばと、子どもたちがや

りたい種目に取り組めるように地域と連携してスポーツクラブ「京のジュニアスポーツアカデミー」(仮称)を創設しようとして、準備を進めているところです。

糸井 そういうクラブがあれば、子どもがスポーツをする機会を失わずに済みですね。

西脇 「子どもとスポーツ」という観点でいえば、糸井さんはご自身の名を冠した少年野球大会を地元で開催されていますね。**糸井** 僕が子どもの頃は、プロ野球選手を間近に見るなんて経験はできませんでしたが、そんなことは夢のような話でした。それを今、僕にできるのであればと思い「糸井嘉男杯争奪戦」と銘打った大会を作っていたかったです。

西脇 糸井さんを目の前にしたら、子どもたちはさぞかし興奮するでしょうね。

糸井 子どもたちのキラキラした顔を見ていたら、昔を思い出します。逆に力をもらえますよ。

西脇 京都府では、スポーツを通じて夢とあこがれの持てる社会の実現を目指しています。プロの選手に子どもたちが

触れ合える機会をもっと増やしていきたい。取り組むので、その時はよろしくをお願いします。

「みる」スポーツ

「支える」スポーツ

西脇 スポーツは「する」だけではなく、「みる」、それからボランティアなどの「支える」という関わり方があります。糸井さんは、甲子園球場で真弓明信さんのホームランをまさに「みる」ことで、プロ野球選手になりたいと思われたそうですね。

糸井 小学生の時に父親に初めて連れて行ってもらった甲子園で見た豪快なアチ…。あれは本当に興奮しましたね。

西脇 亀岡市に府内唯一の球技専用複合型スタジアム「サンガスタジアム by KYOCERA」が2020年1月に完成



サンガスタジアム by KYOCERA。京都サンガF.C.のホームスタジアムで、国際試合も開催可能な府内唯一の専用球技場



誰もがスポーツに
親しめる環境を作っていく

しましたが、行かれたことはありませんか？
糸井 まだなので行ってみたいです。亀岡市にできたことは知っていますよ。

西脇 亀岡駅前であって、京都駅からJR山陰本線(嵯峨野線)の快速に乗れば約20分で亀岡駅に着くので、京都駅からだと30分以内でスタジアムに入れます。観客席とピッチまでの距離は近くて最長で7・5m。高低差は1・2mしかないので選手の息づかひも聞こえるほどです。

糸井 それは迫力たっぷり観戦を楽しめそうですね。競技者を終えた今、これくらいいろんなスポーツを「みる」側になって、興奮したいなと思っていますので、行ってみたいと思います。

西脇 次に「支える」スポーツですが、糸井さんは日本車いすスポーツ振興協会を支援する活動をされていますね。

糸井 皆さん車いすソフトボールという競技をご存じでしょうか。僕も車いすに乗って体験させてもらったのですが、とて

も難しく奥が深いんです。

西脇 糸井さんでも難しいですか。

糸井 選手の方々はひとときが速くて、そのスピード感の中でみんな笑顔でボールを追いかけられます。知事も一度体験してみてください。

西脇 ええ。ぜひとも。障害を持つ人も持たない人も、同じ目線で楽しめるパラスポーツの普及のためには、糸井さんのような「支える方」がもっとたくさん必要です。誰もがスポーツに親しめる環境づくりに、今後もしっかりと取り組んでいきます。

スポーツの力を 京都の未来に活かす

西脇 2023年3月に文化庁が東京から京都へ全面的移転されます。中央省庁の地方移転は明治以来初めての試みです。スポーツ基本法にもスポーツを通じて健康で文化的な生活を営むことを目指すとされています。文化庁移転を機に、スポーツ



振興にもあらためて力を入れてまいります。

糸井 2023年は僕にとっても大きな節目の年になります。今まで野球しかしてこなかった僕が、一人の社会人として新たなスタートを切る年です。やはり何かにチャレンジしたいですね。野球と同じようなモチベーションでできるかな、という不安はありますが、まあ、もうそこまですべて追いつかなくてもいいのか(笑)。

西脇 始めてしまうとすべて真剣にやっってしまうタイプなんですね。では本日のお話の結びに、次のステージに向かう糸井さんから、府民の皆さんへのメッセージを頂けますか。



車椅子ソフトボールチーム「関西アンパランス」と交流する糸井さん(東大阪市提供)

糸井 恩返しではないですが、今後は地元や京都にもっと関わっていきたく思いますし、活気あふれるまちづくりに僕が役立てばいいなと思っています。
西脇 これまでも社会的な貢献をされていますが、ぜひ、京都や地元のために関わっていただけるとありがたいです。今後の超人伝説第2章に期待しています。本日はありがとうございました。

糸井 嘉男さんに聞く 5つの質問

Q. 座右の銘は？

A. 超人、向上心、日々鍛錬

Q. 子どもの頃の夢は？

A. プロ野球選手

Q. 府内でお気に入りの場所は？

A. 故郷である天橋立

Q. ストレス解消にはコレ。

A. ドライブ、睡眠

Q. 好きな食べ物？

A. 肉類(タンパク質)



これからも「超人」であり続けるという意志が込められた糸井さんの直筆サイン

祝
文化財
登録

「京料理」が
国の登録無形文化財に登録

京都が1200年の歴史の中で磨き上げ、受け継いできた「京料理」が、国の登録無形文化財に登録されました。

登録無形文化財とは、重要無形文化財に指定されていない文化財のうち、特に保存や活用が必要な生活文化、芸能、工芸技術などが対象になります。府では、府内の料理店など

延べ166件を対象に調査を実施し、登録無形文化財としての要件を明らかにする取り組みを進めてきました。その結果、献立の作成やしつらいの決定などを行う主人と、接遇を通じて文化的意味を提供する女将・仲居、

伝統的な調理技術を持つ料理人が三位一体となったサービスの持つ文化的価値が認められる形で登録が実現。今後、保持団体である「京料理技術保存会」を中心に、未来に受け継ぐべき文化として後継者の育成や、情報発信に力を入れていきます。



季節や客の嗜好、利用目的などに応じたしつらいを施し、一組一組にきめ細やかな配慮でもてなす女将の接遇も京料理の大切な要素



京料理の担い手には、食材の目利きや調理技術を極めることはもちろん、歴史や文学、茶道、華道、さらには器や建築に至るまで幅広い知識と、それに基づいた高い美意識が求められます



この美しい食文化を未来へつなぐ

今回の登録無形文化財への登録は、あくまで出発点。これからさらに上を目指していかねばならないと考えています。より芸術性を高め、おもてなしのレベルを上げるために、若い担い手たちが学ぶ場も必要です。将来、人間国宝を輩出できるぐらい、人材育成には力を入れていきたい。また、より多くの人に京料理の楽しみ方を知ってもらう機会も設けていきたいですね。

京料理技術保存会
京料理 たん熊北店 三代目主人

栗栖 正博氏



祝
文化財
指定

「経ヶ岬灯台」が
国の重要文化財に指定へ

明治31年(1898)に建てられた京丹後市の「経ヶ岬灯台」が、新たに国の重要文化財に指定されることになりました。初点灯から120年以上が経った今も現役で海の安全を守りながら、近代海上交通の歴史を伝えている点が高く評価されています。

白く塗装された石造りの建物で、高さは13・7メートル。国内5カ所にしかない「第一等レンズ」を備え、レンズの高さは約2・6メートル、重さは約5トんに及びます。このレンズが20秒に1度

回転して放つ光は、41キロメートル先の海上からも確認することができます。重厚なレンズを水銀の入った容器に浮かべ、なめらかに回転させる装置は当時の最先端技術で、現在もほぼ建設当初のまま使われています。

灯台に隣接して建てられた「旧第一物置」なども併せて指定を受け、府内の重要文化財(国宝含む)の数は300件701棟(全国最多)となります。また、灯台が指定されるのは、府内では初めてとなります。



▲120年以上にわたって日本海沿岸の航路の安全を守ってきた経ヶ岬灯台



▲約5トンの重さがある第一等レンズが回転し、遠くまで光を届けます



◀今回、灯台と共に指定を受けた旧第一物置

問 文化財保護課 TEL 075-414-5898 FAX 075-414-5897

※12月8日時点の情報に基づいて掲載しています

祝
表彰

「京都府あげぼの賞」表彰式を開催

昨年11月22日「第34回KYOのあげぼのフェスティバル2022」において、各分野で先駆的に活躍する女性に贈る「京都府あげぼの賞」の表彰式を行いました。個人では、アーティストのクスイミンゲ選手の乾友紀子さん、みずのき美術館キュレーターでSocial Work/Art Conferenceディレクターの奥山理子さん、舞台演出家・脚本家・作詞家の小林香さん、金工作家の高橋阿子さん、京都大学数理解析研究所助教の山下真由子

さん、グループでは要約筆記サークルくさぶえの皆さんが受賞されました。当日は、アフリカ研究で知られる文化人類学者の小川さやか氏(立命館大学大学院教授)による講演や、地域や職場における女性の活躍に関する参加型ワークショップなども開催し、さまざまな角度から男女共同参画社会を考える一日となりました。



▲西脇知事と今年度の「京都府あげぼの賞」受賞者および意見聴取会議委員



▲小川さやか氏による講演「チャンスの贈与-タンザニア商人たちの将来への備え方」

◀バザールには府立海洋高等学校の生徒たちも特別出店



▲府内産の新鮮野菜やスイーツ、雑貨などを販売するバザールも開催

問 男女共同参画課 TEL 075-414-4292 FAX 075-414-4293



立誠ガーデン ヒューリック京都で行われた新世代いけばな展で、屋内と屋外の異なる空間に展示されたいけばなを鑑賞

昨年11月5日、いけばなの振興と若手華道家の育成を目的に開催された「京都新世代いけばな展2022」を、また同月11日には「西陣」の地名の由来である応仁の乱から555年目の節目を迎えたことを記念して開催された「西陣CROSS Week 2022」を西脇知事が視察。いけばなと西陣織という、京都が誇る2つの伝統文化の現在形を体感するとともに、それぞれの分野で次世代を担う皆さんと「行き活きトーク」を開催し、意見交換を行いました。

現場訪問

いけばなと西陣織の各分野で次世代を担う皆さんと
京都市内で「行き活きトーク」

参加者の声



- コロナ禍の外出自粛で、住空間に花が一輪あるだけで気持ちが良いと感じる人が増えている。ただ、なかなか「いけばなを習ってみよう」に結び付かないのが課題
- オモトやヒオウギなど、いけばなに欠かせない花材の生産者が減ってきている。花材の生産地と、花をいける環境、見る環境…その間をつなげていくのも華道家の役割だと思う
- 今回のように若者の目に触れやすい場所でいけばな展を開くことで、親しみを持ってもらえれば、いけばなを通じて、命の大切さや、花の生命力を感じる力を育みたい
- いけばなは陶芸や漆芸、竹細工など多様な分野とタッグを組んで成り立つ文化。作品を通じて幅広い文化の魅力を伝えていきたい

トークを終えて…

いけばなは、京都に息づく生活文化の代表格の一つといえるものですが、さらに発展を遂げていくためには、子どもたちが体験する機会の創出や、花材の生産環境を守ることなど、トータルな視点が重要だと改めて感じました。文化庁移転を機に皆さまの活躍の場が増えることを期待しています。



西陣 CROSS Week 2022 (上京区)



参加者の声



- 界隈のギャラリーやお店の協力を得て「西陣CROSS MAP」を作成。地域と一体になって取り組んだ経験が今後につながれば
- これまで他業界と西陣織との接点が少なかった状況に、人と人とのご縁から変化をもたらしたい思いからマルシェを実施
- 西陣織は貴重な技が集積していて、機道具が一つでも途絶えたら織れなくなる。機道具の一つの「杼(ひ)」を3Dモデリングで再現するなどの試みで、技を未来へつないでいきたい
- 昔とは違い、西陣織職人同士が知恵を出し合いながら日々精進を重ねている。百年後に自分の織ったものが残るような仕事がしたい
- 西陣織は人々に感動を与える仕事だと自負している。その魅力を発信していくためには、非常に高度な技術を持つ織物職人たちが誇りを持ってものづくりを続けていくことが必要

トークを終えて…

古来受け継がれた技の世界を拝見し、西陣織の技術の高さを改めて感じただけでなく、今回の取り組みが新たな連携を生み出し、地域ブランド力の向上につながっているのを感じました。その上で、西陣はすごい産地なんだと世界に向けて発信していきたいと考えています。



問 広報課 TEL 075-414-4071 FAX 075-414-4075

※感染症対策を講じた上で開催しました

最終回

文化庁が京都にやって来る！

文化庁の新庁舎が竣工！

府庁に隣接した新庁舎がついに竣工！
12月に建物の引き渡しが行われ、
いよいよ移転が間近となりました！

旧京都府警察本部本館を
リノベーションした新庁舎



天井飾りや脚板などの
レトロな内装もそのまま
復原しています！



最寄りの重要文化財は

京都府庁旧本館

新庁舎に隣接する府庁旧本館は築約120年！
現役最古の官公庁建物として
国の重要文化財に指定されています！

京都府庁旧本館



ルネサンス様式の
外観



吹き抜けの階段まわり！
まるで工芸品のよう...



現在も公式行事などに
使われる正庁

文化庁の移転先となる建物が完成した
京都府庁界隈には、文化や芸術を楽しめる
場所がたくさんあります。
この機会にぜひ
散策してみてください。

府庁旧本館の
見学情報です～



- 公開日** 火曜日から金曜日
第1・第3・第5土曜日 ※祝日・年末年始を除く
- 時間** 10時～17時
- 料金** 無料

●10名以上での見学については事前予約が必要です

- 問** 府有資産活用課
- TEL** 075-414-5432 **FAX** 075-414-5450
- ✉** huyushisan@pref.kyoto.lg.jp

こちらを
チェック！



令和5年1月

府警 第174号 あんぜん広場

京都府警察
スローガン

千年を守る 未来を創る



府警公式
ホームページ



府警公式
Facebook



府警公式
YouTube



京都平安策2023

力強く頼りがいのある警察

推進重点

- ❖ サイバー空間における脅威への対処能力の強化
- ❖ 犯罪から府民を守るための取組の推進
- ❖ 子供・女性・高齢者等の安全確保と犯罪被害者支援の強化
- ❖ 安全で快適な交通社会の実現
- ❖ 重要凶悪事件の徹底検挙と組織犯罪の摘発強化
- ❖ 緊急事態等への的確な対処
- ❖ 社会情勢の変化に対応するための組織づくり

旧年中は、警察業務の各般にわたり、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。京都府警察では、本年、総力を挙げて重点的に取り組むべき業務方針として「**京都平安策2023**」を策定いたしました。府民の安全・安心を脅かすさまざまな重要課題に敢然と立ち向かい、府民の皆さまに「安全・安心なまち京都」をより一層実感いただけるよう、各種取り組みを積極的に進めてまいります。本年も引き続き、警察に対するご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。この一年の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

府民の皆さま、
あけまして
おめでとうございませう。



京都府警察本部長
筒井 洋樹

府警INFORMATION

京都府警察年頭視閲式

- 1月21日(土) 10時~11時30分
(小雨、降雪決行)
 - 所 岡崎公園 平安神宮前(左京区)
- 交通規制にご協力ください。



第68回警察美術展

警察職員とその家族などの作品を展示します。

- 【南会場】
■ 1月11日(水)~15日(日) 10時~17時
所 京都市京セラ美術館別館(左京区)
- 【北会場】
■ 2月9日(木)~12日(日) 10時30分~17時
所 バザールタウン綾部アスパ館2階
アスパアカデミー(綾部市)

警察行政手続サイトへの 手続追加について

1月4日から警察庁警察行政手続サイトで申請できる対象手続が追加されます。詳細は府警HPをご覧ください。



暮らしガイド

KYOTO Information



- 府庁への郵便物は「〒602-8570 京都府〇課(室)」で届きます。
- Web申し込みが必要で特に記載がないものは府ホームページへ。
<http://www.pref.kyoto.jp/koho/dayori>

- 休業日については各施設へお問い合わせください。
- 特に記載がない場合は無料、当日受付。イベント定員は先着順。
- 詳しい内容などはタイトルで検索し、Webをご確認ください。

※新型コロナウイルスの影響により、イベントなどは変更・延期・中止となる場合があります

福知山高等技術専門学校

●令和5年度

4月入校生二次募集(選考試験)

- ①自動車整備科
- ②ものづくり基礎科

学科、面接にて選考。

■2月4日(出)定 ①②10人程度

料 ①のみ選考料2,200円

受 願書などを持参・郵送(簡易書留)(1月5日~26日必着)

③総合実務科

④キャリア・プログラム科

③は実技試験、面接、④は学科、実技試験、面接にて選考。

■2月4日(出)定 ③10人程度④5人程度

受 願書などを住所地管轄の職業安定所に提出(1月5日~26日)

①~④▶

問 所 同校

〒620-0813 福知山市南平野町90

TEL0773-27-6212 FAX0773-27-6213

京都障害者高等技術専門学校

●令和5年度

4月入校生二次募集(選考試験)

- ①ITシステムサポート科、ものづくりサポート科、インテリアCADサポート科

学科、面接にて選考。

■2月21日(火)定 各料5人程度 対 精神・発達・身体障害者の方

②総合実務科③生産実務科

学科、適性検査、面接にて選考。

■2月28日(火)定 ②10人程度③7人程度

対 知的障害者の方

①~③▶

受 願書などを住所地管轄の職業安定所に提出(1月6日~2月6日)

問 所 同校(伏見区)

TEL075-642-1510 FAX075-642-1520

府立農業大学校

●令和5年度 学生募集(後期試験)

収益性の高い京野菜や宇治茶の生産と経営を学び、農業に従事する意欲のある学生を募集。

■2月17日(金)定 20人

対 学校教育法に規定する高等学校もしくは中等教育学校の卒業生(令和4年度卒業見込み含む)、またはこれらの方と同等以上の学力がある方で、令和5年4月1日時点で40歳未満の方

料 入学考査料2,200円

受 願書などを持参・郵送(簡易書留)(1月20日~2月1日消印有効)

問 所 同校

〒623-0221 綾部市位田町桧前30

TEL0773-48-0321 FAX0773-48-0322

試験・就職支援

京都陶芸大学校(陶工高等技術専門学校)

やきもの成形科(応用・基礎)
絵付デザイン科

①入校説明会

説明会、学校見学を行います。

■1月6日(金)10時~12時

受 TEL・FAX・☎(~1月5日)

✉ tokgs-k@pref.kyoto.lg.jp

②令和5年度 4月入校生 二次募集(選考試験)

学科・実技・面接にて選考。

■2月4日(出)定 各料・コース5人程度

料 入校選考料2,200円 受 願書などを持参・郵送(簡易書留)(1月5日~26日必着)

①②▶

問 所 同校

〒605-0924 東山区今熊野阿弥陀ヶ峰町17-2

TEL075-561-2943 FAX075-561-3429

京都高等技術専門学校

システム設計科、メカトロニクス科、
機械加工システム科、住建築・リフォーム科、
プロダクトマネジメント科

①オープンキャンパス

施設および訓練実施風景見学、各科の説明など。

■1月13日(金)14時~16時 定 各料10人

対 令和5年度入校を希望される方、保護者など

受 Web(~1月11日)

②令和5年度

4月入校生二次募集(選考試験)

学科、面接にて選考。

■2月4日(出)定 各料5~10人程度

料 入校選考料2,200円(プロダクトマネジメント科は不要) 受 願書などを郵送(簡易書留)(1月5日~26日必着)。ただし、新規学卒者以外の方は、住所地管轄のハローワークで相談・手続きが必要

①②▶

問 所 同校

〒612-8416 伏見区竹田流池町121-3

TEL075-642-4451

お知らせ

府営住宅入居者募集

2月募集については、郵送およびWebで受け付けます。Web申請の詳細については二次元コードをご覧ください。



①京都、乙訓・南丹地域

受 郵送・Web(1月31日~2月10日、郵送の場合必着)

問 府指定管理者(株)東急コミュニティー 京都府営住宅管理センター

〒600-8108 下京区五条通新町西入ル 西鋸屋町18トミタビル7階

TEL075-354-1090

FAX075-354-1092

②山城、中丹・丹後地域

受 郵送・Web(1月31日~2月10日、郵送の場合必着)

問 府住宅供給公社

〒602-8054 上京区出水通油小路東入ル 丁字風呂町104-2 京都府庁西別館2階

TEL075-432-2018 FAX075-432-2049

はたちの献血キャンペーン

少子高齢化などにより献血できる方が減少しています。新成人の皆さんも、この機会に献血へのご協力をお願いします。

問 京都府赤十字血液センター

TEL075-603-8800 FAX075-603-8808

献血ルーム四条 ☎0120-640-388

献血ルーム京都駅前 ☎0120-569-356

献血ルーム伏見大手筋 ☎0120-731-350

インボイス発行事業者の登録申請はお早めに

インボイス(適格請求書)を発行するためには、原則、令和5年3月31日までにインボイス発行事業者の登録申請が必要です。

問 軽減・インボイスコールセンター (国税庁)

☎0120-205-553

(9時~17時、土日祝を除く)

チャットボットはこちらから▶



くにきゅう

恭仁宮フォーラム

2月4日(土)

幻の都「恭仁宮」の特別史跡昇格を目指し、恭仁宮研究の有識者や直木賞作家澤田瞳子氏を迎えての学術フォーラムを開催。2月18、19日には、体験イベントもあります。

- 10時～16時
- 所 国立京都国際会館(左京区)定500人
- 受 Web(～1月30日)
- 問 文化財保護課
- TEL 075-414-5903



きょうと食の安心・安全フォーラム

2月7日(火)

府内食品事業者による食の安心・安全に関する取り組みの紹介と、参加者との意見交換。食品のプレゼント企画あり。

- 14時～15時30分
- 所 京都経済センター(下京区)、オンライン
- 定 会場30人、オンライン100人
- 受 会場参加:TEL・FAX・☒(～1月31日)、オンライン参加:Web(～1月31日)
- 問 府民総合案内・相談センター
- TEL 075-411-5000
- FAX 075-411-5001
- ✉ 411-5000@pref.kyoto.lg.jp



Stage Everywhere

京都府ゆかりのアーティストによるパフォーマンス、さまざまなアート作品の展示・販売、伝統芸能をはじめ参加型の文化体験ワークショップなど。

2月18日(土)

●南丹会場

■ 10時～17時 所 ガレリアかめおか



2月23日(木・祝)

●京都市会場

■ 13時～18時30分 所 京都コンサートホール(左京区)



2月26日(日)

●山城会場

■ 11時～17時 所 長岡京市役所旧庁舎



問 文化芸術発信強化実行委員会事務局(文化政策室内)
TEL 075-414-5140 FAX 075-414-4223

福祉のお仕事相談会

福祉職に興味のある方を対象に、福祉施設の概要や仕事内容の質問、希望の働き方の相談など、事業所の方と話ができるイベントです。

- 2月17日(金)14時30分～16時30分
- 所 ハートピア京都(中京区)
- 問 京都府福祉人材・研修センター
- TEL 075-252-6297 FAX 075-252-6312



美味研鑽 京の食文化 ブランド京野菜 冬の料理フェア

1月21日(土)～2月19日(日)

料理店が考案したブランド京野菜の特別メニューが期間限定で味わえます。また、京野菜の歴史文化や機能性を知り、京の食文化を学ぶことができます。詳細はWebへ。

- 問 同運営事務局
- TEL 080-8541-1232
- FAX 075-255-7621



ヘルス博2022

1月23日(月)

木村祐一氏と西脇知事とのオープニングトークショー、はんにゃ川島 of レジェンド氏による特別講演、健康・予防サービスを提供する企業のブース展示、府民向け健康づくりコーナーなど。

- 10時～16時 所 京都産業会館ホール(下京区)、オンライン
- 問 同運営事務局
- TEL 080-1050-8438
- ✉ healthhaku@ml.screen-cre.co.jp



消費者問題学習会

1月29日(日)

ネット教育アナリスト 尾花紀子氏による講演「デジタルが苦手でも大丈夫、スマホ・ネット活用講座」。

- 14時～16時 所 ウイングス京都(中京区)
- 定 会場50人、オンライン50人
- 受 FAX・☒・Web(1月4日～23日)
- 問 京都市消費生活総合センター
- TEL 075-366-2250
- FAX 075-366-2259
- ✉ soudan@city.kyoto.lg.jp



京都府漁業者育成校「海の民学舎」 第9期生募集(第2回選考試験)

漁師の担い手を育成する「海の民学舎」の研修生を募集。

- 2月16日(木) 所 宮津総合庁舎 定10人
- 対 おおむね40歳未満で、研修後、府内に定住して漁業に従事される方
- 受 願書などを持参・郵送(簡易書留)(～2月3日消印有効)
- 問 府水産事務所 企画・海の民学舎係
- 〒626-0052 宮津市小田宿野1029-3
- TEL 0772-25-3030 FAX 0772-22-3289

京都ジョブ博 「海の京都 宮津就職フェア2023冬」

一般求職者、UIJターン希望者、2023年3月以降大学など卒業予定者を対象とした、対面、オンラインのハイブリッド形式による合同企業説明会を開催します。

- 2月17日(金)13時～15時
- 所 宮津市民体育館
- 問 北京都ジョブパーク
- TEL 0773-22-3815 FAX 0773-22-3816

ここまるふくし合同就職説明会

「きょうと福祉人材育成認証制度」で認証を受けた福祉事業所約20法人が出席します。希望者には求職活動証明書を発行します。

- 1月28日(土)13時30分～16時
- 所 京都テルサ(南区)定60人
- 受 TEL・Web(～1月27日)
- 問 京都ジョブパーク福祉人材コーナー
- TEL 075-682-8915
- FAX 075-682-4189



春から働く!京の就活応援フェア

高校・大学などの今年度卒業予定者および卒業3年以内の若年者を対象とした、4月入社ができる京都企業30社による合同企業説明会・面接会。

- 2月4日(土)10時30分～13時30分
- 所 オンライン、京都産業会館(下京区)
- 受 Web(～2月4日)
- 問 京都ジョブパーク
- TEL 075-682-8915
- FAX 075-682-4189



府ホームページ



▲日本語 ▲English

エフエム 京都 @STATION FM KYOTO 89.4

- Kyoto Smile Message (木)10時45分ごろ～(「Kyoto Child Smile」内)
- Meets the Kyoto (月)～(金)17時台

KBS 京都ラジオ KBS京都Radio

- 京都トープRUN(火)12時～(「ま～ぶる!火曜日 桂二葉と梶原誠のご陽気に」内)
- きょうと ほんと情報 (月)～(金)各3回/(土・日)各1回

KBS 京都テレビ KBS京都TV

- あったか京都! 第4(月)19時30分～ 特派員による府政レポートや知事と交えたトークなどを通じて京都府の温もりと驚きを伝えます

文化・スポーツ施設の主なイベント情報

※ 文化・スポーツ施設については、掲載していない内容もあります。詳細は各施設ホームページへ
 ※ 新型コロナウイルスの影響により、イベントなどは変更・延期・中止となる場合があります

施設名	1月	2月上旬
ふるさとミュージアム丹後 (宮津市)★ TEL 0772-27-0230	企画展「サンパチー豪雪と山村の暮らしをめぐる60年」 ～4/9日 福知山公立大学 小山元孝教授 (NPO法人TEAM巨波)による講演「消えない村-京丹後の離村集落とその後」 定30人	文化財講座 ● 1/28(土) 13時30分～15時
府立植物園 (左京区)★ TEL 075-701-0141	 新春を彩る寄せ植え ハンギングバスケットコンテスト展 1/15日～2/5日	
堂本印象美術館 (北区)★ TEL 075-463-0007	堂本印象「交響」1961年(昭和36年) 第4回新日展 京都府立堂本印象美術館蔵 コレクション展 「音のハーモニー —印象が奏でる風景—」 ～3/26日	
島津アリーナ京都 (北区) TEL 075-462-9191	シニアスポーツデー ● 1/8日 10時～11時30分 障害者スポーツのつどい ● 1/8日 14時～16時	
京都文化博物館 (中京区)★ TEL 075-222-0888	Kyoto Art for Tomorrow 2023 —京都府新鋭選抜展— 1/21(土)～2/5日 ZOOM UP 信仰の美—筆に託した祈りの世界— ～2/5日	
城陽五里五里の丘 (城陽市) TEL 0774-66-6022	新春!風揚げの日 ● 1/15日 10時～14時30分	

★印の文化施設は「きょうと子育て応援パスポート」協賛施設です。

ZOOM UP 京都文化博物館

「信仰の美—筆に託した祈りの世界—」

神仏に対する人々の信仰は、時として目に見える美しさを伴います。平安時代より伝わった信仰にまつわる作品を紹介することで、祈りの世界に迫ります。

● 1/21(土)～2/5日
 料 一般500円ほか

如意輪観音像
 京都府蔵(京都文化博物館管理)
 池大雅美術館コレクション



北方領土返還要求 第41回京都府民大会

第17回「北方領土と私たち」作文コンクール表彰式

北方領土の日(2月7日)に合わせて返還に向けた機運を醸成するため講演などを開催。

● 2月11日(土・祝)13時～15時30分
 所 ホテルルビノ京都堀川(上京区)定150人
 間 北方領土返還要求京都府民会議(広報課内)
 TEL 075-414-4071 FAX 075-414-4075



京都商店街創生フォーラム2023

2月18日(土)

ゲストトーク、商店街での取り組みなどのプレゼンテーション、商店街のこれからを考える交流会など。

● 13時～17時 所 京都経済センター(下京区)
 定100人 受TEL・FAX・Web(～2月14日)
 間 府民総合案内・相談センター
 TEL 075-411-5000
 FAX 075-411-5001
 411-5000@pref.kyoto.lg.jp



Kyoto Art for Tomorrow 2023

—京都府新鋭選抜展—

1月21日(土)～2月5日(日)

京都を拠点に活動する新進の若手作家40名の作品展示のほか、藤井俊治氏のインスタレーションを別館ホールで特別展示。会期中にトークイベントあり。

● 10時～18時 所 京都文化博物館(中京区)料500円ほか
 間 文化芸術課
 TEL 075-414-4222 FAX 075-414-4223



ひとり親家庭を励ます 知事と新入学児童等のつどい

3月5日(日)

ひとり親家庭の新入学児童を知事が直接お祝いをします。

● 10時30分～14時30分 所 ルビノ京都堀川(上京区)定75組170人
 受TEL・Web・郵送(～1月31日消印有効)
 間 ①(母子)府母子寡婦福祉連合会
 ②(父子)府民生児童委員協議会
 〒604-0874 中京区竹屋町通烏丸東入ル清水町375
 TEL ①075-223-1360
 ②075-256-7083
 FAX ①075-950-1503 ②075-256-7084



KYOTO SIDE



専属フォトライターが印象的な写真と記事で京都の魅力を発信

京都府公式LINEアカウント




府広報課Twitter




府広報課Facebook




府公式YouTubeチャンネル




前号を読んで SNSなどが得意ではないので、毎月ポストに届く京都府のいろいろな情報を知り参考にさせていただきます。次号からも変わらずつ楽しみになります。伏見区 Tさん



1月のプレゼント

京都肉 (520g)

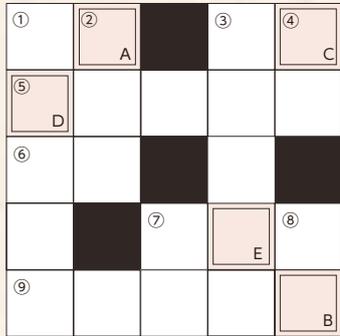
正解者の
中から抽選で

15人

豊かな自然の中で育て上げた京都肉。赤身でやわらかいモモ肉を、しゃぶしゃぶ用に仕上げました。味わい深い京都肉のうま味をお楽しみください。

クロスワードクイズを解き、【ヨコのカギ】

答えを完成させてください



- ① 春の七草「すずな」って何のこと?
- ③ 京都丹後鉄道のカフェ列車の名前は「丹後〇〇まつ号」
- ⑤ テレビのチャンネルを頻繁に変えること
- ⑥ 1センチの10分の1は1〇〇
- ⑦ 将棋の駒のうち、一つ間を隔てた斜め前方の左右へ飛ぶもの
- ⑨ 枯山水の石庭で有名な〇〇〇〇寺

【タテのカギ】

- ① 屋根の上に取り付けられ風向きが分かります
- ② 理科の分野の一つ
- ③ 特に野球の審判をこう呼びます
- ④ ベッド、ダンス、テーブルなど
- ⑦ めったにないこと、珍しいこと
- ⑧ 一、十、百、千に続きます

答え

京料理が「
国の登録無形

A B C D E

」に登録!



賞品に野菜などは含まれません

応募方法

- はがき・メール 下記の7項目を記入し、ご応募ください
- ① クロスワードの答え ② 郵便番号 ③ 住所 ④ 氏名 ⑤ 年齢
- ⑥ 電話番号 ⑦ 今月号をきっかけに行動した・しようと思っていること

〒602-8570 府広報課「クイズ」係 ※宛先住所は不要です

✉ koho@pref.kyoto.lg.jp

● 応募フォーム 府のHPからアクセスしてください



締め切り 1月15日(日)消印有効

※記入漏れ・判読不明などがある場合は無効となりますのでご注意ください
 ※個人情報は賞品の発送のみに使用します
 (府から住所などを問い合わせることはありません)
 ※当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます
 ※頂いたコメントを匿名で掲載させていただく場合があります
 ※先月号の答えは「500」。11月号の応募総数は4,892通でした

京都府の人口 2,550,066人 (男:1,217,217人 女:1,332,849人) 世帯数 1,206,274世帯 (令和4年11月1日現在)

- 【配布】 舞鶴市: (公社)舞鶴市SC ☎0773-64-3233 福知山市: (公社)福知山市SC ☎0773-23-7677 綾部市: (公社)綾部市SC ☎0773-42-9030
 - 亀岡市: (公社)亀岡市SC ☎0771-24-7423 京都市: (株)日本情報サービス ☎075-644-9573 向日市: (公社)向日市SC ☎075-932-3987
 - 長岡京市: (有)フィード・インフォメーション ☎075-275-4441 大山崎町: (公社)大山崎町SC ☎075-956-7561 宇治市: 読売中央販売(株) ☎06-6315-5751
 - 久御山町: (公社)久御山町SC ☎075-633-5500 八幡市: (公社)八幡市SC ☎075-983-0822 城陽市: (公社)城陽市SC ☎0774-52-9486
 - 宇治田原町: 宇治田原町SC ☎0774-88-4333 京田辺市: (公社)京田辺市SC ☎0774-64-8822 精華町: (公社)精華町SC ☎0774-98-0510
 - 木津川市: (公社)木津川市SC ☎0774-72-6690 その他: (株)京都新聞折込サービスセンター ☎075-257-3100
- 【発行】 京都府広報課 ☎075-414-4074 ☎075-414-4075 ✉ koho@pref.kyoto.lg.jp